

ベトナム教育事情と協力隊活動

15 - 1 小学校教員 ベトナム派遣
神奈川県二宮町立二宮小学校 清水大格

最初に「ベトナム小学校事情」

- ・ **1年生から5年生まで**
日本は6年生まで。ベトナムは中学が4年ある。
- ・ **時間は7時～10時、14時～17時**
昼休みが長いのは、昼御飯を家に食べに帰るため。半日しかない日もある。けれど、殆どの日は午後もあり、日本のような放課後という考えはあまり無い。
- ・ **名目上の教科と実質的な教科**
名目上は、技術、自然と社会、体育、図画などの時間があるが、実際は殆ど算数と国語にあてられている。
- ・ **固定された人事**
村で採用されたら多くは定年まで村で教員をする。他村との人事交流は無いに等しい。また、3年生の担任は翌年も3年、のように学年が固定されている。
- ・ **習熟選抜クラス**
3年生から試験結果によって選抜クラスと通常クラスに分けられる。学校行事は殆ど選抜クラスの児童によって執り行われるのが普通。
- ・ **県、省レベルでの学力調査、大会**
前後期にある期末テストは重要。成績優秀者は県でのテスト大会によばれる。さらに、学校ごとの点数も出している。

2, 任地へ赴く～こちらとあちらの行き違い～

- ・ **自分を振り返ると、意気込みすぎていた**
せっかくの2年間、何か残して帰りたい!
- ・ **向こうは積極的に技術を欲していると思っていた。**

しかしベトナムサイドは・・・

みんな隊員をどうやって扱うべきか、迷っていた。

3, 見えてきた村の学校の現状

- ・ **やたら酒を飲む。行事は子どもの時間と大人の時間がクッキリ。**
子どもの行事の後には大人の打ち上げが学校内で行われ、いきのみ大会。そのため子どもの行事は長くても2時間以内に終わる。
- ・ **図画は教科書の模写のみ。**
教科書の例を正確に写すことが求められる。
- ・ **体育は坐学が教練のような内容。**

道具が全くない中で行うので、行進や体操、が多かった。

- ・ **学校対抗とも言えるテスト、余裕の無さ。**
学校内、郡内での順位を競っている。
情操教育は学校内でも進級に関わらない科目。
- ・ **中央、省レベルは情操教育に力を入れ始めているが・・・**
実際にはテスト競争があるので現場に浸透していない。
- ・ **多くの先生は農業者との兼業**
そのため、特に農繁期は空き時間が欲しい。
買い物に行ったり、畑の様子を見に行ったりする。

3, 染まってみよう、リラックスしよう

- ・ 酒を飲む、休憩と一緒に取るなど、地道な人間関係から
- ・ 受け持ちのクラスも増え、こちらの提案をやってくれる人もでてきた。しかし、「技術協力」にはこだわりたかった
教案集など、ベトナム人の力も借りつつ

4, 見えてきた良さ

- ・ 怒らない
- ・ 絶妙なリスクヘッジ
AがだめでもBがあるよ、という思考を常にしている。
- ・ 人生を楽しんでいる。良いと思ったことをスッとやってくれる。
指導案集を活用して貰えた。
- ・ プラス思考、娯楽に寛大